

## 第 20 回環境情報科学センター賞 受賞者

### 特別賞

**受賞者：**佐藤 秀樹 氏（江戸川大学／日本環境教育フォーラム）

**対象業績：**バングラデシュ・クルナ市のウエイスト・ピッカー（廃棄物回収人）を対象とした地域社会内廃棄物管理改善プロジェクト～南アジアにおける社会配慮的視点から環境共生型社会の構築を目指して



#### 【受賞理由】

本業務は、バングラデシュで3番目に大きなクルナ市において、都市やその周辺部における廃棄物量の増加、市民によるごみの適切な管理に関する課題に対し、次世代を担う子供達の廃棄物管理に関する意識改革とウエイスト・ピッカーと呼ばれる廃棄物回収人の労働環境の改善に向けた一連の取り組みである。

まず、候補者は、衛生教育教材と研修プログラムの開発、ウエイスト・ピッカーの環境保全等の役割を組み込んだ環境教育教材の開発と普及啓発活動を通じて、労働者、学校関係者および地域住民の廃棄物管理に対する理解と意識向上に大きく貢献した。

特に、ウエイスト・ピッカーの社会的な意義とその劣悪な環境と差別をされているところに目をあてその改善に尽くした点と将来を担う子供達に焦点をあてて教育的プログラムを開発、実践した点が評価できる。

その方法として、子供達にフリップカードやカルタ、ボードゲームといった誰もが関心を寄せて楽しみながらできる手法を用いたことで、実際にとり組んだ大変多くの子供達（学校数小中学校 40 校、小学生 1,690 人、中学生 828 人）が、廃棄物の問題を理解したうえで清掃活動にとりくむこととなり教育的にも大きな成果をあげたと考えられる。

本業績は、それらの教材開発の内容やプログラムの実証的効果のプロセスをまとめたもので、これら一連の研究および活動成果は、開発途上地域における社会的包摂へ向けた廃棄物管理のための教育アプローチとして高く評価でき、特別賞に値するものと考えられる。